

衛星データ利用者名

日東製網株式会社・株式会社ツガイナカ中村漁場

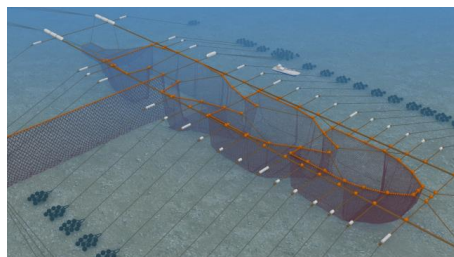
サービス提供者名

株式会社グリーン&ライフ・イノベーション 国立大学法人北海道大学
一般財団法人リモート・センシング技術センター、有限会社アイティ企画

- ◆ 定置網漁業は、気候変動による不安定な水揚げ、台風や低気圧による漁具の被害、水産物の価格低下、担い手不足等の問題に直面しており、安定した経営を続けることが困難な状況にある。
- ◆ 本提案では、衛星を利用した①遠隔入網確認、②魚群来遊予測、③網形状診断の技術を導入して、その有効性を実証する。
- ◆ 経験や勘に頼る漁業から、宇宙インフラやICTを活用したスマート漁業への転換を図り、持続的な定置網経営の実現に貢献する。

現状

- 沿岸に来遊する多種多様な魚を漁獲する受動的な漁業で、水揚げの見通しは立たず、また実際に沖で確認するまで入網状況や網の形状はわからない。



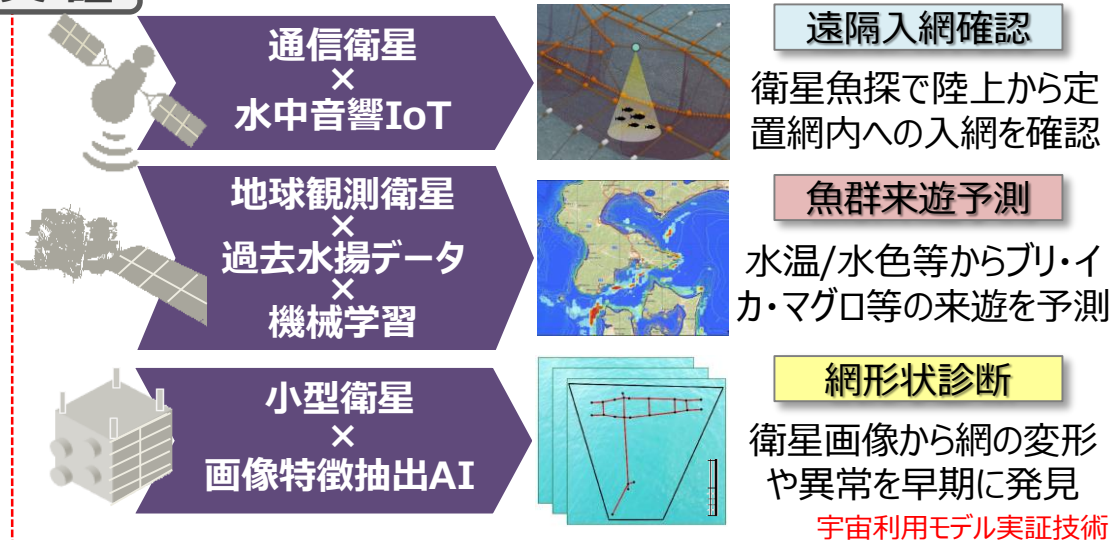
定置網の構造 (全長約500m)



水揚げの様子

実証

衛星を利用して定置網漁業の最適化をサポート



総合的なサービスを提供

効果

- 各種衛星の活用により、定置網内の魚群・漁具の状況を「見える化」
- ①来遊予測、②入網確認、③網形状の情報をもとに操業を効率化
- 情報サービスによる支援で安定的な経営に貢献、資源管理にも活用